

# わ

発行責任者  
特定非営利活動法人  
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会  
会長 鈴木秀美  
相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）  
TEL & FAX 042-755-5282（直通）  
題字「わ」 相模原市長 本村賢太郎

さーくる 障害理解

検索

## 《第8回定期総会報告》

第8回定期総会は6月5日（日）にあじさい会館6階展示室で開催されました。来賓として市議会議長寺田弘子様、本村市長代理の健康福祉局長河崎利之様にご臨席いただき、祝辞を頂戴しました。また、市長本村賢太郎様、衆議院議員あかま二郎様から祝電をいただきました。

総会は、代議員54名中、出席15名、委任状14名、書面表決19名の計48名の参加を得て成立しました。



総会の進行役として、司会はあしたば会の榛澤さん、議長は腎友会の櫻井さん、書記は事務局の座間さんにつとめていただきました。

議案は令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告ならびに監査報告、役員選任案、令和4年度事業計画案、令和4年度収支予算案で、それぞれ担当役員から説明がありました。代議員の方からの質疑とそれに対する回答もありました。各議案とも代議員の賛成多数をもって可決されました。

令和3年度の多くの事業は、新型コロナウイルスの感染防止のため、残念ながら実施を中止せざるを得ませんでした。令和4年度の事業計画では、前年度中止した事業も開催する予定です。新型コロナウイルスの感染は不透明な状況ですが、事業が実施された場合は、会員の皆様の参加を期待します。

## 《市長・副市長を迎えて恒例の福祉施策懇談会報告》

去る2月6日に開催予定であったがコロナ禍のために行うことができなかった令和3年度福祉施策懇談会を去る6月19日に市民会館第1大会議室にて開催致しました。

障がい者団体からは15団体27名が、市側からは、本村市長、隠田副市長、河崎健康福祉局長、関係部局の部課長など18名が出席しました。本村市長は当初、他の公務があり、30分程度のご出席予定でしたが、65分出席いただきました。

冒頭、主催者であるNPO法人れんきょうの鈴木会長が、本日出席のみなさまに謝意を示し、また、昨年10月に障がい者団体に福祉施策等に関するアンケートを実施したことの経緯、そして、この令和3年度福祉施策懇談会は、去る2月に中止になりましたが、市長はじめ市の関係部局の方々と懇談できるまたと無い機会であり、中止でなく、時期を置いても是非開催して欲しいという会員の熱望があり開催するものである等の挨拶を行った。

続いて、本村市長から、令和3年度福祉施策懇談会の開催に対しての祝意を頂き、生活の中での困りごとやご提案、ご指導、忌憚のないご意見を賜りたいとお言葉も。



新型コロナワクチンの接種状況、特に障がいのある方に寄り添った接種のこと、人権尊重の条例制定のこと、小田急多摩線延伸の問題、行財政構造改革については、時代に合った施策を、そして、皆様に寄り添った支援をしっかりと行っていきたいと表明され、具体的に、医療的ケア児のコーディネーター配置、難聴者への補助金創設、点字ブロックの総点検など市の障がい児者施策の一端の丁寧なお話があり、最後に、今後も、皆さまと対話を重視しながら、様々なボールを投げあって、そして、いただいたボールでお答えできる点、できない点もあるかもしれませんが、なるべく皆様に寄り添えるように、しっかり地に足をつけて皆さまと議論をしてみたいと思いますとのこと挨拶がありました。

続いて、出席者紹介に。但し、障がい児者団体側は書面で行い、市より令和4年度の障害福祉関係等の概要説明があり、また、先の福祉施策等アンケートに対する市の回答に対しての質問・再要望に対しての市の回答の説明があり、その後懇談に入りました。懇談は活発に行われ、出席団体のほぼ全団体が発言されました。

最後に隠田副市長から以下の総括コメントがあり、終了しました。

本日はそれぞれに皆さんが抱えている問題を投げ掛けていただき、非常に有り難い機会でした。ただ、それぞれに質問に対して担当からは「引き続き検討します」「努力します」「研究します」などの返事が多く、市は非常に冷たいと感じられたと思います。なぜそういう答えになったかに付きましては、事業を行うためには予算が必要だからです。福祉の予算は年々増加しています。扶助費については10年前の1.5倍になっており、限られた予算の中から新たな施策の予算を確保するのは容易ではありません。しかし、皆さんが抱えている問題をそのまま放置する訳にはいかないと思っています。そのために施策を見直させていただきたい。その上で、本当に必要なも

のについてはきっちり行っていきたく強く思っています。また、施策の見直しだけでなく、寄付を募るとか、国からの補助金を持ってくるとか財源の確保も併せて研究して行きたいと思っています。

本日、移動の問題、就労の問題、もっと社会参加を増やして欲しいという問題、相談体制の充実問題などこれらの問題を少しでも前に進めるよう市としても頑張っていきますので引き続き制度の見直しを含め皆さんと意見を交わしながら進めていきたいと考えます。

今日は貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました。引き続き市としても障害福祉の発展に尽力してまいりたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

## 《令和4年度『障害者週間のつどい』開催について》

標記『障害者週間のつどい』は、来る12月4日（日）にあじさい会館ホールにて開催する予定です。現在、第1部の障害者週間事業の一環としての「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の入賞者の表彰式に引き続いて行う第2部のアトラクション（ライブパフォーマンス）の出演者を検討しています。

## 《ほかほかふれあいフェスタ 2022 の開催案内》

ほかほかふれあいフェスタは、一般市民の皆様に障がいとボランティア活動の意義をより一層深く理解していただくために毎年秋と冬の障害者週間にあわせて冬に開催して来ましたが、

しかしながら、秋のほかほかふれあいフェスタは、ここ3年間は台風の襲来、新型コロナウイルスの感染拡大により中止せざるを得ませんでした。本年は10月15日（土）に感染対策に留意しながら開催することとなっています。そのため、従来の内容、方法とは大きく異なっています。

まず、来賓を招待しての開会セレモニーやスタンプラリーは中止となります。また、ウェルネス前の広場で販売していた焼きそば、ラーメン、おでん、コーヒー等の飲食物の提供は無しとなりました。そして開催時間は12：30～15：30となります。

なお、冬のほかほかふれあいフェスタは11月26日（土）の午後に従来通り、相模大野駅北口のサンデッキにて開催する予定です。

## 《自由民主党相模原支部連合会、公明党相模原総支部との政策懇談会》

自民党との今年度の懇談会は書面による開催になります。一方公明党とは対面方式で開催になります。各党への要望事項は下記の内容で提出いたしました。

提出した要望事項は次のとおりです。

1. 精神障がい者のバス料金割引
2. 重度障害者医療費助成制度の現行の形での継続
3. 障害者差別解消推進条例の制定
4. 聴覚障がい者にやさしい市政の実現
5. 透析患者に対するタクシー券の金額増額
6. 「相模原市行財政構造改革プラン」の市単独事業の扶助費についての意見交換会早期開催

## 《天命会の活動について》

天命会会長 安部博之

銀河アリーナの売店の運営担当は、3人で1人が仕入れを、2人が交代で販売を担当しています。営業日は土曜日、日曜日、祝日のみです。営業時間は土曜日午前11時～午後5時。日曜日・祝日は午前10時～午後5時までです。

取り扱っている品物は、お菓子（駄菓子も）に飲み物、アイスクリーム、カップラーメン、ちょっとしたおもちゃ、バトミントン、カラーボール、ひざ掛けなど。その他にも沢山の種類があり、数え切れてないほどです。カップラーメンはお湯もサービスしています。小腹がすいた時にいかがですか。特に駄菓子は人気があります。沢山の種類があり、ラムネ、ロールキャンディーが一番人気です。よっちゃん（昔はよっちゃんイカと言ったような？）、細長いチューブに入ったゼリー、ポテトフライ、ビッグカツ、ほしうめなどまだまだたくさんあります。30円、50円など子供さんにも買えるお値段になっています。

お客様は銀河アリーナや淵野辺公園施設を利用する方が多く、親子で駄菓子を選ぶのも楽しいようです。又、昔をなつかしんで駄菓子を買うおじいちゃん、おばあちゃんもお孫さんと一緒に楽しんでいます。銀河アリーナ、淵野辺公園をご利用の際はぜひ銀河アリーナ内にある売店にも立ち寄ってください。



## 《“正義中毒”という病》

あしたば会 榛澤昌高

「大人の俺が言っちゃいけない事 言っちゃうけど 説教するって ぶっちゃけ快樂。」

音楽バンド SEKAI NO OWARI の「Habit」の歌詞の一節です。Youtube では再生回数が6千万回を超えて（7月20日現在）歌詞もダンスも独特なので話題になっている曲です。“説教するって快樂”、ハッとさせられる言葉ですが、なんか腑に落ちたようにも感じました。

会社では上司が部下に、家庭では親が子供に、学校では先生が生徒に説教をするというのは、よくあることですが、説教しているほうは、正義感に基づいて正しいことを教えているつもりかもしれませんが、相手のためというより思い通りにならない自分の不満を相手にぶつけているだけということも少なくない気がします。

問題発言やスキャンダルを起こした政治家や芸能人が、メディアやネットで激しいバッシングにさらされることがあります。強烈にバッシングされ自殺されてしまった方もおられました。一人の人に対して多くの人が一斉に攻撃し、まさに“袋叩き”にするという現象はとても恐ろしく感じます。バッシングするほうは、正義感に基づいて、世のため人のためというつもりなのでしょうが、される側の心が深く傷つくという想像力が欠如しているようにも思います。皆で、よってたかって責め立てるので“メディアリンチ”“ネットリンチ”とも言われるそうです。コロナ

禍でも“自粛警察“という人たちが出現して、マスクをしないなどコロナ対策を行わない人を攻撃する現象が起こり、「コロナより人間の方がよっぽど怖い」などと言われました。どうして」人は人を許せないのでしょうか？

実は人間は正義感に基づいて他人を攻撃するのには理由があって、不正義だと思う相手に「正義の制裁」を加えると脳の快楽中枢が刺激され、快楽物質のドーパミンが放出され、気持ちいいと感じるそうです。この人間の性質を脳科学者の中野信子氏は“正義中毒”と名付けました。この快楽は強烈で、なかなか止められないので“中毒”と表現したそうです。しかも“正義中毒という病”にはワクチンも特効薬ありません。

もちろん、正義感に基づいた言動が人間社会を良い方向に導いたり、進歩させてきたこともあるので、必ずしも悪というわけではありません。人権や平等や民主主義などの人間に利する制度や思想は正義感に基づいた言動によって、少しずつですが改善されてきました。例えば、障がい者への虐待や差別は、今でも無くなったわけではありませんが、昔はもっと酷く、障がい者への強制不妊手術を合法とした「優生保護法」や障がい者を座敷牢に閉じ込めることを合法とした「精神病者監護法」など本当に酷い法律がありました。これらは、今は無くなりました。もちろん今の障がい者関連法も問題点が多くありますが、「障がい者の人権を守る」という正義感に基づいて、少しずつですが改善されてはきています。

ただ厄介なのは正義というのは時代によっても変わってくるところです。実は「優生保護法」も「精神病者監護法」も当時は、それが正義のためと信じて作られました。「不良な子孫を残さないことで人類の発展を促すという優生思想」という間違った正義によって「優生保護法」は作られました。また「精神病者から社会を守るという社会防衛思想」という間違った正義によって「精神病者監護法」は作られました。それらの法律を当時の政治的指導者も、知識人層も、家族までもが成立を後押ししました。正義の名のもとに、とんでもない人権侵害の法律が、かつてはありました。

人が正義感に基づいて行った言動が、必ずしも正しいとは限らないというのは皮肉なことです。今私もこの文章を自分の正義感に基づいて書いていますが、本当に正しいのか絶対の自信はありません。

相手を深く傷つけ、場合によっては自殺にまで追い込む“正義中毒という病”。「正義中毒の究極の形が戦争である」と中野信子氏は語っています。正義と正義の衝突が戦争とは言いますが、人を殺すことに正義なんて絶対にありません。ウクライナの日でも早い平和を切に願います！あの相模原事件の犯人も、「障がい者に生きる権利はない」というゆがんだ正義感で、あのような凄惨な事件を起こしました。

“正義中毒という病”は誰の脳内でも起こるそうです。自分の正義が本当に正しいのか、疑ってみることも大事なこともかもしれません。あなたの正義は本当に正しいですか？

## 《「さーくる」 アクセス状況報告》

最近のアクセス状況を下表のとおりご報告します。

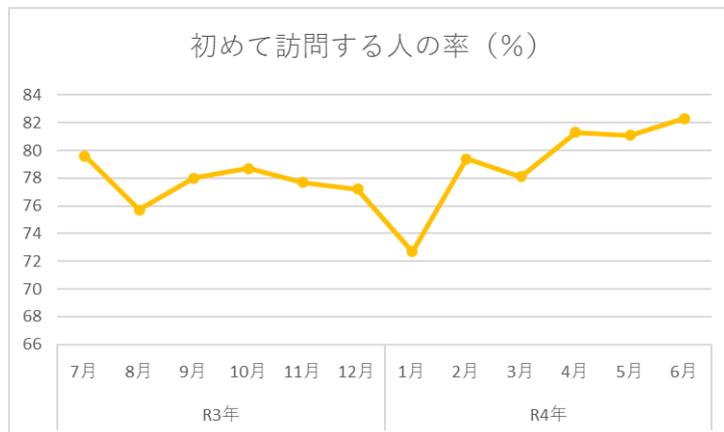
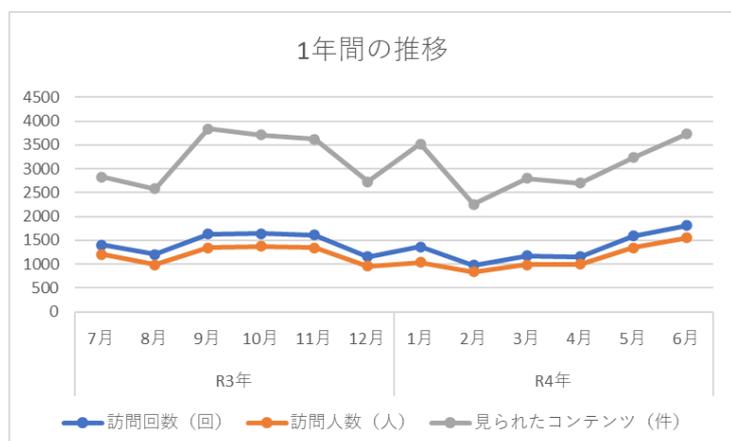
	R3 年					
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
訪問回数 (回)	1408	1208	1629	1646	1608	1161
訪問人数 (人)	1205	986	1348	1374	1344	961
見られたコンテンツ (件)	2825	2580	3840	3715	3626	2733
初めて訪問する人の率 (%)	79.6	75.7	78.0	78.7	77.7	77.2

	R4 年					
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
訪問回数 (回)	1368	983	1176	1155	1589	1810
訪問人数 (人)	1037	842	992	1000	1350	1549
見られたコンテンツ (件)	3520	2256	2803	2699	3233	3727
初めて訪問する人の率 (%)	72.7	79.4	78.1	81.3	81.1	82.3

イベント等も徐々に始まり「さーくる」を訪問してチェックする方も少しずつ増えてきました。

「さーくる」のトップページの「障害を理解する」に「合理的配慮の事例集」を追加してます。

必要な方はダウンロードをしてお使いください。



## 《加盟団体からのお知らせ》

### 《相模原やまびこ会作品展開催のご案内》

#### 第15回 相模原市 自閉症児・者作品展

開催日：令和4年11月25日（金）13：00～19：00

26日（土）10：00～19：00

27日（日）10：00～15：00

会場：おださがプラザ ラクアルオダサカ 4階

なおWebにて作品展紹介：令和4年12月25日（日）12：00～

令和5年1月25日（水）22：00迄

### 《相模原市身体障害者作品展開催案内のご案内》

開催日：令和4年12月2日（金）13：00～16：00

3日（土）9：30～16：00

4日（日）9：30～16：00

会場：あじさい会館 6階 第1・2展示室

主催：相模原市身体障害者連合会（相模原市肢体障害者協会、相模原市視覚障害者協会  
特定非営利活動法人相模原市難聴者協会・土の会）

共催：相模原市

内容：障がいのある方が制作した絵画、書、手芸、川柳、写真等の展示

### 両展示会場へ来場される時の注意事項

- ♥見学で来場される際は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ♥入場する際は受付で手のアルコール消毒を行ってください。
- ♥入場する際に発熱等（37.5度以上）の症状がある方は来館をご遠慮ください。
- ♥展示会場で入場者が既定の人数になった場合入場規制をさせていただきますので、入場をお待ちいただくこともありますのでご了承ください。

## 《事務局たより》

### 《新車紹介セールご協力のお願い》

～（株）クライム エヌシーデー様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、三菱、ダイハツ

※令和4年度はトヨタ車が除外されているのでご注意願います。

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで（042-755-5282）

### 《夏期受託販売について》

#### 《令和4年度夏期受託事業ソーメン販売案内》

5月9日より下記の夏期受託販売を開始いたしますので、今年度も絶大なるご協力をお願いいたします。また、イトメン様から小麦粉の価格高騰と輸送コスト、原油価格の高騰要因を受け価格改定が来ております。それに伴い、れんきょうも夏期販売そうめんから販売価格の値上げを実施することとなりましたのでお願いいたします。

商品は例年通下記の商品を取り揃えております。お中元等にご利用ください。皆様のご購入をお待ちいたしております。

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| ① 島原小町 (ES-33) (化粧箱入り 50g×18束) | 標準小売価格 3,672円 ➡ 2,500円 |
| ② 麺ごころ (FI-40) (化粧箱入り 50g×30束) | 標準小売価格 4,428円 ➡ 3,000円 |
| ③ 麺ごころ (FI-55) (木箱入り 50g×40束)  | 標準小売価格 6,048円 ➡ 3,800円 |

※販売期間：令和4年5月9日～令和4年8月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

### 《第37回障害者による書道・写真

#### 全国コンテストが開催されます》

昨年同様皆さん奮って応募してください。詳細はNPO法人れんきょう事務局にお尋ねください。応募締め切りは令和4年9月22日です。

相模原市では過去写真部門で相身連の小出会長が3回入賞しており、書道部門での失語症友の会内山さんが入賞しております。